

学研労協 NEWS ニュース

核兵器禁止・平和の思いをつなぐ —国民平和大行進—

毎年、核兵器禁止を求めて歩いている国民平和大行進の北海道—東京コースにつくばで7月4日に取り組みました。

午前8時からつくば市大清水公園前に25人の参加者が集まり出発集会を開催しました。土浦学園線に向けて参加者のみなさんに横断幕を掲げてもらい平和行進をアピールしつつ集会を進めました。

集会のはじめに司会の小滝さんが今年1月に発効した核兵器禁止条約などをめぐる情勢について少し話しました。次に竹之内学研労協議長が熱海の土石流に対するお見舞いを含めて挨拶し、つくば市長のメッセージを読み上げ、つくば市長と新婦人つくば支部、美浦村長、美浦平和の会、美駒労働組合のペナントを旗竿に結びつけ掲げました。



このあと新婦人つくば支部からニュースの紹介と挨拶があり、次いで日本共産党県会議員の山中さんが挨拶しました。

最後に、歌詞カードを配布し「青い空は」と「私の子どもたちへ」を歌いました。

この間、新婦人つくば支部が作成した日本政府に条約批准署名を求める紙製のワッペンを配布して参加者に付けてもらいました。

出発集会の後8時30分からピース・ウォーキングを始めました。今回は諸般の事情から、国民平和大行進として（許可を取って車道を歩く）行進ができなかったため、希望者の独自行動と位置づけて、約20人の方々が並木大橋まで歩道を歩くことになりました。

平和行進宣伝カーはピース・ウォーキング同時に大清水公園を出発しとピース・ウォーキングと併走するように学園東大通りを通り、並木大橋まで宣伝しながら走りました。その後宣伝カーは並木地区、梅園地区、小野川地区などを宣伝しながら通過し、学園西大通りを通ってひたちのうしく駅に向かいました。そこで牛久地区の実行委員会に引き継ぎました。